工科短大って、どんな学校？

Q どのようなことが学べますか？

A 住環境ー私たちの生活空間ーを創出するための、知識・技術・技能を修学します。その中でも特に木材を使って建築・家具・道具を作るためのスキルを重視しています。

施工実習では、大工道具などの手工具（鋸、鉋、ノミなど）や木工機械の使用法を学んだ上で、木造建築施工法や木工品の製作法を身につけます。

設計実習では手描き製図の基礎を学んだ上で、テーマによる設計、建築模型制作、プレゼンテーション法を身につけます。また、建築 CAD も現場で通用するレベルまで修得します。このような実技が全授業時間の６割となりますが、一方で学科も重視し、建築士試験に必要な様々な分野を満遍なく学びます。これら一般の授業は全員必修です．

応用制作という授業では、「設計・施工・家具」の３分野の中から、学生個人の興味・関心に応じて選択し、個別のテーマを指導教員の元で深く学びます。一例として、設計分野では地域社会の課題を解決するための建築を計画する、施工分野では高度な規矩術を修得して大工技術を磨く、家具分野では自らデザインした家具を製作するなどが挙げられます。

卒業制作としてこの応用制作に取り組み、２年生の最後に発表します。全体的に教科数が少なくないので、２年間かなり忙しくなりますが、少人数制をとっていますので、充実した密度の濃い学びが出来ます。

Q 一般の大学とは仕組みが違うのですか？

A 本学は厚生労働省所管であり、山形県の認定を受けた職業能力開発短期大学校で、職場で通用する実践的で高度な知識・技術・技能を身につけることを目的としています。

運営は、県内建設関連企業で構成される職業訓練法人山形工科アカデミーが担っており、本学はこれら企業（以下、会員企業）の社員の育成を主目的とするため、本学で修学するためにはいずれかの会員企業に入社する必要があります。

学生は、会員企業の社員であり、かつ建築研究生として給与を受給しながら修学するため、学生でありながら同時に社会人としての立場を持つこととなります。

本学では社会人として相応しい態度や言葉遣いが身につくように指導を行い、会員企業では必要に応じて随時研修を実施して会社や建設現場で早期に現場感覚を養えるようにすることで、総合的に即戦力となる人材を育成します。

Q 学科はどのようになっていますか？

A 専門課程住居環境科は、原則高卒以上を対象にしており、修学期間は２年間です。

短期課程建築科は、１，２，３級技能検定実技講習（建築大工）、およびインテリアコーディネーター講習、木質構造・施工講習を 20 時間から 100 時間程度開講し、資格取得等を目的に短期集中で取り組みます。

Q 教えるのはどんな方ですか？

A 多彩で経験豊かな教授陣です。木造建築や木工品を熟知した建築大工１級技能士、歴史的建造物調査や歴史を活かしたまちづくりに取り組む研究者。また、非常勤講師としても、設計事務所を主宰する一級建築士、インテリアプランナー、建設現場の管理者、木工の造形作家など、何れも長年の経験を有する専門家が現場で培った実践的な知識・技術・技能を踏まえた授業を展開します。

Q キャンパスライフについて教えて下さい。

A 全寮制（複数人１室。男女別）で、開校日の三食は学食で提供されます。平日は、基本的に朝のミーティングから始まって、４コマ（１コマ＝ 100 分）の授業を行った後、夕方のミーティングで終了します。

北日本一円から学生が集まり、高校新卒者が大半で、建築関連科以外の出身も少なくありません。女子学生は１学年２～４割ですが、とても活発に活動しています。学生は全体的に活気があり、年間を通して地域行事など地域活性化に積極的に貢献しています。校舎は標高 500 メートルの森の中にあり、緑豊かな環境は勉学の専念に適しています。

Q どのような資格が取れますか？

A 建築・ものづくり分野では、様々な場面で資格が力を発揮しますので、自発的に進んで取得して下さい。資格は、自らの知識・技術・技能の到達点を確認出来るだけではなく、それを顧客・会社など周囲に対して自分の能力としてしっかりと示す上でも重要です。

在学中は、計画系ではインテリアコーディネーターの受験が可能です。施工系では３，２級建築大工技能士および２級建築施工管理技士（学科）が受験出来ます。

卒業後は（本学所定科目にすべて合格した場合）、二級建築士および２級建築大工技能士がすぐに受験出来ます。以上のうち、インテリアコーディネーター、建築大工技能士については、短期課程により試験対策を行いますので希望者は是非受講して下さい（別途受講料必要）。

また、建築士、施工管理技士、大工技能士にはそれぞれ１級に相当する資格がありますが、受験・取得・登録等に一定の実務経験が必要となります。卒業後も、是非、仕事をしながら資格に挑戦し続けて下さい。

校舎遠望（背後に流れるのは最上川）